

**授業概要**

本授業では、心理・社会調査を行う際の進め方、具体的にはテーマの設定、仮説構築、質問項目や質問票の作成、データ収集、データ整理とデータ分析(解析)、論文(レポート・報告書)の作成までのすべてのプロセスについて講義する。心理学における多様なテーマに関し、量的調査を中心とした方法論について理解を深め、自身が取り組む卒業研究にも生かせることを目的とする。調査研究の一連のプロセスを修得するために、質問票作成やデータ分析、結果報告などに関する演習を実施する。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス(授業の進め方, 調査研究法とは)
第 2 回	調査研究のプロセス, 論文の構成
第 3 回	調査目的と研究倫理
第 4 回	リサーチ・クエスチョン, 要因図, 仮説
第 5 回	調査方法(対象者, サンプルング, 質問紙の構成)
第 6 回	質問項目の作成, 調査票の配布~回収
第 7 回	調査票の作成法 1(質問項目, ワーディング, 回答形式)
第 8 回	調査票の作成法 2(項目分析)
第 9 回	調査データの作成(コーディング, 入力, データクリーニング)
第 10 回	調査データの集計(単純集計, GT 表作成)
第 11 回	調査データの分析法 1(相関, $t$ 検定, 分散分析)
第 12 回	調査データの分析法 2(多変量解析:因子分析, 重回帰分析)
第 13 回	調査データの分析法 3(自由記述の分類)
第 14 回	調査結果の報告方法 1(論文・レポートの構成)
第 15 回	調査結果の報告方法 2(論文・レポートの作成法)
第 16 回	まとめ:レポートの提出

**到達目標**

- ・調査研究の流れと方法論を理解できる。
- ・心理学領域の専門演習や卒業論文で調査研究を実践するための知識と研究スキルを修得できる。

**履修上の注意**

- ・合理的な理由なく遅刻・欠席はしないこと。授業での演習や討論に積極的に取り組むこと。
- ・講義だけではなく、調査テーマや方法に関するの検討時間、データ分析などの作業時間、分析結果をまとめ、報告書にまとめる授業時間以外の学修時間があることを理解したうえで履修すること。
- ・授業中の私語、授業と関係しない作業(携帯等の使用など)を禁止。30分以上の遅刻は欠席扱い(電車遅延など合理的理由がある場合は、証明書の提出を)。
- ・進み具合により、授業計画の順番を入れかえることや内容を一部変更することもある。

**予習・復習**

- ・授業内で配布する資料などを参考に、予習復習を行うこと。
- ・授業内の演習や作業が途中になった場合は、授業時間外の時間を用いること。

**評価方法**

授業内レポート 40%、授業態度 20%、レポート 40%を総合的に判断する。

**テキスト**

教科書指定はなし。授業用資料を毎回配布し、参考図書を適宜紹介する。